

**多摩市の社会教育施設に関する  
多摩市議会議員選挙立候補予定者への  
アンケート 全回答  
(2015年4月16日現在)**

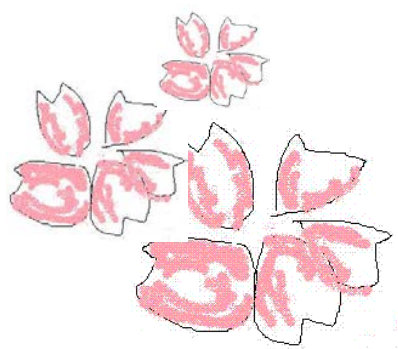
実施団体 多摩市の社会教育を考える会

実施日 2015年3月24日～

立候補予定と思われる方35名に封書にて依頼  
(議員ポスト投函22名、郵送13名)

回答者数 16名

2015年4月17日



## 回答者リスト (到着順、2015年4月16日まで。敬称略。アンダーラインは現職の方)

- 1 橋本 由美子
- 2 安齊 きみ子
- 3 小林 憲一
- 4 市川 周
- 5 加藤 松夫
- 6 板橋 茂
- 7 大野 まさき
- 8 向井 かおり
- 9 中沢 みほ
- 10 遠藤 めい子
- 11 伊地智 恭子
- 12 青木 かつよし
- 13 大くま 真一
- 14 岩永 ひさか
- 15 増田 匠
- 16 しらた 満

なお、公明党市議団様からは返答できないとの謝罪文が理由とともに4月4日に届きました。文面掲載可否をと尋ねしましたが、そのお返事いただけませんでした。

このアンケートは、多摩市選挙管理委員会が行った立候補予定者に対する説明会への参加者のうち、公表してもよいとされた方々のお名前の情報を、同委員会からいただき、現職市議のみなさまについては、議員ポストに投函し、現職議員でないみなさまについては、さまざまな方法（街頭で見かけて連絡先をお聞きすることも含め）等で情報を得て、郵送させていただきました。お返事くださった上記16名（現職市議11名、現職市議でない方6名）のみなさまの外に、公明党市議団のみなさまと思われる方々も含め、以下の19名（現職市議11名、現職市議でない方8名）の方々（敬称略）にもアンケートの依頼状と回答用紙をお渡ししています。

池田啓子、萩原重治、飯島文彦、折戸小夜子、松田だいすけ、平野勝久、三階みちお、平山準也、藤原マサノリ、本間利江、荒谷隆見、岩崎みなこ、星野なおこ、藤條たかゆき、渡辺しんじ、さえき美生、遠藤ちひろ、桐木 優、宮脇宗文

アンケートの依頼状と回答用紙をお渡しできなかった他の立候補予定者の方いらした場合には、私どもの探索力が足らず、申し訳ありませんでした。心よりお詫び申し上げます。

2015年3月24日

多摩市議会議員選挙立候補予定者

様

多摩市の社会教育を考える会

代表 荒井容子

### 多摩市の社会教育施設に関するアンケートのお願い

私たちは多摩市の社会教育のあり方について考えている市民組織です。

私たちはそれぞれ、少しずつ進展してきた多摩市の社会教育施策に支えられ、学び、活動してきました。しかし、この度提示された「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」の中で、重要な多数の社会教育施設が廃止されることを知り、驚かされました。そこで、市民の立場から多摩市の社会教育のあり方、それを支援する社会教育施策のあり方を考えていくために集まり、2014年12月に「多摩市の社会教育を考える会」を結成しました。

現在、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」の中で提示されている社会教育施設廃止（移転も含む）提案は、市民の学びを支え社会教育活動を支援する社会教育施策のあり方について、全く配慮を欠いた提案だと私たちは考えています。

私たちは

「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」で提案されている、唐木田図書館、聖ヶ丘図書館、東寺方図書館、豊ヶ丘図書館、桜ヶ丘児童館、豊ヶ丘児童館、東寺方児童館、愛宕児童館の廃止（移転も含む）は、市民（子どもたちも含む）の、日常生活の中での学びや地域にねざした社会教育活動を大きく後退させることになるため反対します。

同じく同プログラムで提案されている関戸公民館の廃止は、14万7千という人口規模をもち、三つの駅に生活圏が分れている多摩市の現状をふまえると、市民の社会教育活動を支援する体制として大きな後退となるため反対します。

豊ヶ丘、東寺方、聖ヶ丘、唐木田、桜ヶ丘地区で、当該地区にある図書館、児童館、また、それらを含む複合館の存続を求める運動が起こっています。近隣住民や利用者の「何とか残せないだろうか」という願いは強く、「存続を求める署名」はまたたく間に広がり、それぞれの地区で多くの署名が市議会の事務局や市長へ提出されました。利用者や地域住民は今回の市の計画を知らない人もまだ多く、各地区で市長や市の担当者との対話集会も多く持たれています。関戸公民館の廃止に反対する陳情も出されました。それらの運動の高まりの中で「豊ヶ丘図書館・児童館を含む複合館」と「桜ヶ丘児童館」の存続を求める陳情は、2014年6月議会で採択されました。また、2015年3月議会では、市長は、廃止予定だった既存の児童館を、当面維持すると答弁しています。

さて、「多摩市自治基本条例」は、2004年8月に制定され昨年10周年を迎えました。

2001年1月13日に第1回「多摩市市民自治基本条例をつくる会」から2002年6月に市長に提言書を提出するまで立法、行政の経験がない市民が、ゼロからワークショップ方式でつくる試みは、全国でも初めてのケースでした。「多摩市自治基本条例」10周年に向けた多摩市の2014年8月5日の広報では、「まちづくりの主人公は、市民の皆さんです。市民の皆さんが主体的に参加し…」そのための「情報を集めるために図書館や公民館を活用」しようと記載されています。そもそも、自治の拠点である各地域の図書館や複合館などの社会教育施設の廃止を提案することは、「自治基本条例」を最高規範としている多摩市がすべきことなのでしょうか。また、当該施設の利用者に十分に説明をせず、地域住民や利用者の声を聞かずに最終案を決めた市の対応は、「まちづくりの主人公は、市民の皆さんです」という精神にあてはまるのでしょうか。

「自治基本条例」に基づき2010年3月15日に公布された「多摩市議会基本条例」の前文では「…「市議会」は、「市長」とともに市民の負託に応え、その権利を保障する責務を負っています。意思決定機関である「市議会」は、市民の多様な意見を代表して議論し、政策をつくり、市長等によるまちづくりを「監視及び評価する」役割を負っています。…」とあります。

私たちは今度の選挙を多摩市の自治を進め、市政を変えていく4年に一度のチャンスと考え、市議会議員選挙立候補予定者に多摩市の社会教育施設の在り方について考えをお伺いし、私たち有権者の投票する判断材料として広く市民にお知らせしていこうと考えております。各立候補予定者の皆様におかれましては選挙に向けてご多忙中恐縮ですが、4月1日までに下記あてに郵送、ファックスまたはメールにてご回答いただきますようお願いいたします。なお、ご回答は印刷して4月5日の対話集会等で公表する予定ですのでご了承をお願いいたします。

「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」策定前の手続きが不十分であったこと、また当該施設の廃止（移転を含む）に反対し存続を求める市民の意向が各地で提示されていることをふまえ、社会教育を大切に考えている市民の声を受けとめて、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

#### 多摩市の社会教育を考える会

代表 荒井容子

会員 大橋慶一（豊ヶ丘複合館存続の会 所属）

齊藤 仁（東寺方複合館の存続を考える会 所属）

辻山妙子（聖ヶ丘図書館の存続を考える会 所属）

中江智明（唐木田図書館の存続を考える会 所属）

青木洋子（多摩市に中央図書館をつくる会 所属）ほか多数

回答の送付先 4月1日必着でお願いします。

荒井容子 郵送先 :

tel/fax :

eメール : [yarai@hosei.ac.jp](mailto:yarai@hosei.ac.jp)

## 多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

### 立候補予定者氏名

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。	②削減に反対である。	③何ともいえない。
理由		

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。	②廃止に反対である。	③何ともいえない。
理由		

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。	②廃止に反対である。	③何ともいえない。
理由		

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。	②値上げに反対である。	③何ともいえない。
理由		

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。	②不適切である。	③何ともいえない。
理由		

1. ② 削減に反対

理由 俗にいう「地域図書館」はそれぞれの地域に街の発展の流れとともに要望と運動のなかから設置されてきたものです。よく、何キロに1か所とか、人口何人になど分析的な面からいわれる場合もありますが、公共の施設などに併設されるので計算通りいくわけはありません。今どれだけ利用され、とって代わるものがあるかないかで判断すべきです。そうした視点で考えると、4館とも今後の在りかたの様々な工夫はあっても、根本的に変質させるような提案には同意できません。

2. ② 廃止に反対

理由 公民館と貸館の違いは大きく、ただ低廉に使えるというだけでなく、街づくりの核になるのが公民館だと思います。私は長野県で生まれ育ちましたが、建物の立派さではなく、地域全体が公民館で「何かしよう」という機運のある雰囲気は子どもでも理解できました。子ども会の活動も、公民館でやりました。「飲み食いができない」という多摩市の公民館とは違いますが、女性や子ども、働く人など全市民に門戸を開く場所が公民館であり、関戸公民館は重要です。

3. ② 子ども子育ての新しい法律には児童館という位置づけはないけれど「児童館概念」はたいせつです。赤ちゃん、幼児、小中学生、高校生、働く未成年などが利用できる身近なところに必要な施設です。「子育てマネージャー」が拠点施設にいろいろな場所に行く構想はかなり無理があります。「保健師、保育士、教師、カウンセラー・・・」などすべてに精通している人の存在はむずかしく、目的は民間やNPOで何とかなるだろうという発想かと思えます。

4. ② 値上げに反対

理由 「公共施設」は誰でも気軽に使えることが第一です。建設費の借金の利息や人件費などをもとにした数字からはじきだす「使用料」は一見正当に聞こえますが、徴収する側の論理で考えられたものです。3年ごとの見直しも、利用者の生活実態とかけ離れています。私は3月議会でこうした問題点も明らかにし、来年4月の引上げに向けた6月の引上げのための条例改正中止をもとめました。市側は、事務的に進めようとしています。私は最後まで「引上げ条例」に反対するつもりです。

5. ② 不適切である

理由 公共施設は行政のためにあるのではなく、市民のためにあることを考えれば、反対論など恐れず、まず案を示して地域住民との話し合いの臨むべきだったと思います。その後、私たち会派は「あくまでたたき台、これからも市民との話し合いをおこないたい」という市長の答弁を引出し、3月議会の図書館問題でもその認識に変わらないことを確認しました。財政的な問題は直視して行くべき問題ですが、「合理的観点」「受益者負担論」を最優先に掲げ続けることから解決の糸口はみつからないと考えます。(市がブレーンとして発言を求めた根本教授の「市民全員がつかうわけではないから」という切り口から公共施設を考える論にはのれません)

**多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書**

立候補予定者氏名 安齋 きみ子

※各質問事項の①～③ではまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。       ②削減に反対である。       ③何ともいえない。

理由  
居住している側に地域図書館があることが大事で、多摩市地域図書館の市民に愛され活用されている。地域図書館の残すべきです。

2. 開戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。       ②廃止に反対である。       ③何ともいえない。

理由  
公民館が果たした役割の大きいものがあり、私も市民企画満足度と公民館を活用しとくみをしてきた。同じ公民館に統合するべきものはないと思います。

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。       ②廃止に反対である。       ③何ともいえない。

理由  
子ども子育て支援法に児童館の位置づけられ、廃止への理由が、多摩市の児童館の地域に愛されなくなった。児童館の職員は子どもたちだけでなく、お家でもよくつみ、子育てへの支援と、地域への支援をしていくべき。この案には賛成はできません。

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。       ②値上げに反対である。       ③何ともいえない。

理由  
社会教育施設は無料、又は有料地区のみ使用料にしなければならないとは思いません。子どもが安心して使えることが基本です。

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。       ②不適切である。       ③何ともいえない。

理由  
住民合意がなければいけないと思います。そのため、市が市民とよく話し合えるべきです。

ご協力ありがとうございました。fax :

メール : [yarai@hosei.ac.jp](mailto:yarai@hosei.ac.jp) 郵送のいずれかの方法で4月1日必着をお願いします。

※ 4/5の集会には先に約束した別の集会に参加するため欠席した。

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

小林憲一

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか？

【答え】②削減に反対である

【理由】市と市教育委員会が、3つの拠点館に集約することで、人件費を引き下げ、図書購入費や開館時間の延長などのサービスを増やそうとするのも1つの考えだとは思いますが、しかし、私は、従来通り、拠点館と地域館の2本立てで図書館を整備すべきだと考えます。少なくとも、現在の地域館の利用者の要求や地域館がどのような役割を果たしているかを十分検討せずに、地域館の廃止計画を立てたことは誤りだと考えます。

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか？

【答え】②廃止に反対である

【理由】市は、関戸公民館を公民館としては廃止し、公共施設としては残すとしています。しかし、これは、関戸公民館の施設を、たとえば、パルテノン多摩のような施設にするということであり、これでは、現在に比べ、利用者は2倍以上の使用料を払うことになり、使えない方も出てきます。また、社会教育施設ではなくなることで、社会教育の場がなくなることとなります。

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が計画されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか？

【答え】②廃止に反対である

【理由】多摩市の児童館は、0歳から18歳まで、地域の子育て支援の要の施設として独自の発展を遂げてきました。現在の10館であっても、まだ整備されていない地域もあります。市は、子ども子育て支援新制度のもとで児童館を「地域子育て支援拠点施設」として再整備するとともに、4館を廃止しようとしています。少なくとも現在の10館は残し、認可保育所などを活用して、さらに「支援拠点施設」を増やすべきです。

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか？

【答え】②値上げに反対である

【理由】市は、2005年に公民館など社会教育施設の有料化に踏み切り、合わせて「受益者負担の原則」などに基づいて、06年度から3年ごとに使用料の見直しをおこなうことになり、06年度、09年度は基本的には現行料金は据え置かれましたが、12年度の見直しでは値上げがおこなわれ、2013年1月から実施されました。今回、さらに値上げをするもので、これでは、よりいっそう、公共施設を使えない、使いにくい市民が出ることになり、認められません。

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか？

【答え】②不適切である

【理由】公民館、コミセン、図書館など地域の公共施設は、地域の住民運動の要の施設であり、そこでの学習や共同行動が地域づくりにつながり、また、市民参加の市政をつくることとなります。「市民との共同」、「地域のことは地域で決める」をかかげる市政が、公共施設の統廃合計画を策定するにあたって、少なくとも、市民と協議していくことは当然のことです。





**多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書**

立候補予定者氏名 加藤 松夫

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。      ②削減に反対である。      ③何ともいえない。

理由

- 1) 世界の主要都市では、公共図書館が都市文化の高さを示すバロメーターである。  
 2) 今後情報化が加速し、デジタル時代の進展にも、図書館の果たす役割は重要である。  
 3) 公共図書館が市民の知る権利や言論の自由を保障する場であり、多摩市民は如何に好地域に住んでいても、図書館利用から疎外されることはいやである。

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。      ②廃止に反対である。      ③何ともいえない。

理由

- 1) 設置に向け、多くの先人や地域の方々の意向、思いを無視している。  
 2) 新設、駅近くの公共施設まで廃止しようという考えは優先しているが、市民の活動を支えていくという基本理念、哲学が感じ取れない。  
 3) 基本的には、床面積の削減は必要とする。

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。      ②廃止に反対である。      ③何ともいえない。

理由

- 1) 市の案は、現在の4児童館の利用状況を全く考慮して居らず、また、地域の方々の思いを理解していないのでは。  
 2) 3月定例会で市長の「市、構想は実行だが、議会の意向や市民の陳情を踏まえ、当面現地の児童館とは全館維持する予定」との回答は、一応評価する。  
 3) 今回の統一選挙公約に廃止とあることを明示した。

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。      ②値上げに反対である。      ③何ともいえない。

理由

- 1) 値上げの理由が明確ではない。  
 2) 市の財政的課題を理由に値上げしようとしているが、社会教育施設を黒字経営を目指すべきには無理である。  
 3) 財源的には充分対応できる。

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。      ②不適切である。      ③何ともいえない。

理由

- 1) 市には、そもそも初めから市民の意見を反映しようという考えはなかった。  
 2) 当初、策定に関わった民間団体の提議は「パルティ多摩」を管理運営に多額の経費がかかるという施設を対抗して作るべきと申し出た。しかし、市にとって実施しやすい施設を廃止・統合に向け提議してきた。

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定者氏名 板橋 茂

※各質問事項の①～③ではまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。 ②削減に反対である。 ③何ともいえない。

理由 身近にある図書館をからごと地域コミュニティの拠点と見ると地域の様々なサークルが又家族がいつでも気軽に利用できるという事は地域図書館をからごとである。

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ②廃止に反対である。 ③何ともいえない。

理由 公民館はなるべく施設を残すと説明するが、貸館になると利用料が高くなり市民の様々な活動にフレキシブルな事になる。

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ②廃止に反対である。 ③何ともいえない。

理由 児童館は廃止の方向ではなく、青少年が集える場として等、活用する方向を広げる等、もっとゆたかにする方向で検討するべき。

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。 ②値上げに反対である。 ③何ともいえない。

理由 社会教育施設の使用料は本来無料であるべきです。まして値上げなど全くないべきです。

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。 ②不適切である。 ③何ともいえない。

理由 本行動プログラムは住民への説明がないばかりか、その施設から地域での様々な役割を果しているのかさえも見ずに、ただ施設を減らす目的でのプログラムであった事が、そもそもの問題。

## 多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定候補者氏名 大野まさき

※ 勝手ながら①～③への○付けは無しで、コメントのみの回答とさせていただきます。

1. まず、多摩市の図書館について、図書館政策全体をどのようにしていくのか、何をめざすのかが、明確にされることが必要と考えます。地域館の廃止・存続だけではなく、学校図書館との連携、地域館に望まれる役割等も考える必要があると思います。しかし数年前に閉館したばかりの唐木田図書館の廃止等を含む市の計画は無理があるのではないかと感じます。また、現在の図書館本館はあくまでも暫定施設とであり、収蔵の限界がきていること、本の保管場所として適しているとは言えない等の課題もある一方、中央図書館を設置する代わりに地域館の廃止を行うというのは少し一方的過ぎる印象もあります。
2. これも図書館同様、市の社会教育をどうさせていくのかが明確に掲げられた上で、公民館政策全体についてどう考え、整理し、その中において関戸公民館をどうとらえるのかということになるのではないかと思います。第三次生涯学習計画の改定作業に積極的に市民が関わることができる手法を提案したいと考えます。
3. 子ども・子育て新制度での「地域子育て拠点施設」として児童館が衣替えされていきますが、これまでの児童館事業や役割を整理し直し、各々の事業の実施場所や担い手も含め検討し直すことが必要です。その際、現在の直営方式だけでなく、他の活動主体との連携や協働も選択肢の一つとして検討していくべきと考えます。基本的には地域で子どもとその保護者に対し、就学前、学齢期、大人へ成長していく過程を見守る拠点・居場所が求められていると考えます。
4. 使用料値上げは避けられないと考える一方、しかし負担増で活動縮小という事態を生んでしまうことも良くないと思います。今後は維持管理経費等もかかってくることとなるので、社会教育施設そのもののあり方も含めた使用料に関する議論を進める必要があると思います。市・議会・市民それぞれが正確な情報を共有し、市民と共に社会教育施設の使用料のあり方も検討されていくべきと考えます。
5. 市民説明会やパブリックコメント等が実施されたものの、市民参画が十分に果たされたとは言えない状況にあると思われますので、市側はより丁寧に情報発信に努め、市民意見反映を踏まえた取り組みや、市民代表である議会、市民と一緒に課題・情報を共有する丁寧な取り組みが大切だと考えます。

**多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書**

**立候補予定者氏名 向井かおり**

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。	②削減に反対である。	③何ともいえない。○
理由 市側の提案は、地域図書館の維持管理や運営に係る経費削減が主な理由であり、5次総でも「集約」と「図書館サービスに関する市民活動」だけが具体的です。多摩市の将来にわたる図書館政策の議論と共有は十分とは言えず、現時点では判断できずにいます。		

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ○	②廃止に反対である。	③何ともいえない。
理由 公民館における社会教育について、捉え直しと認識の共有が必要と考えます。さらに豊かな、市民同士が高め合うための機能の充実に予算を集中させ、コミセンなど、広く市内での事業展開ができるようにするべきと考えます。		

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。	②廃止に反対である。	③何ともいえない。○
理由 財源確保、機能充実の考えは理解しますが、子どもが自力で行ける距離か、児童館がカバーするエリアが現実的か、疑問がないわけではありません。		

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。○	②値上げに反対である。	③何ともいえない。
理由 利用しやすい料金である必要はありますが、ホールのバックスペースの面積を算定根拠から削除したり、1コマの分割などの工夫もなされており、賛成というより止むを得ないとの考えです。		

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。	②不適切である。○	③何ともいえない。
理由 利用しない地域住民や全市的の市民、今は利用していないが将来の利用が考えられる、また将来負担を負う若年層、また今はないが求められている施設あるいは機能…。将来にわたっての公共施設の議論は、まちのあり方の議論でもあり、多様な年代や立場の意見が必要です。また「最終」だが「案」なので流動的だとの説明は、関わり方の工夫を議会や市民に強いる態度だと感じています。		

中沢みほ

①図書館の削減について ③何とも言えない

文化施設である図書館を安易に削減すべきではないが、予算が無限ではない以上、幅広く利用者の声をひろって考えるべき問題だと思います。図書の貸し出しをコミセン等に委譲することで時代に即した新たなコミュニティの形成に繋がる可能性もあるのではないかと考えます。

また、市民の学びを支える場としての図書館の役割について徹底的に議論する必要があると考えます。

②関戸公民館の廃止について ③何とも言えない

利用状況及び利用者の声といった判断材料が不足している為、現時点での回答はできかねます。

私自身は市民団体のイベントは永山で多く開催されているように感じております。関戸公民館とベルブ永山の担っている役割についての討議が必要ではないでしょうか。

③児童館の廃止や移転について ③何とも言えない

児童のコミュニティの場としての児童館は必要ではあるが、時代に即した形での利用が望まれている為、実際の児童や保護者がどう考えているのかが重要だと考えます。現代の子供が利用したいと思える施設づくりが不可欠です。それにそぐわないものであれば改善の必要性が求められます。

④社会教育施設の使用料の値上げ ②値上げに反対

市民の健康寿命を延ばすことが最重要の政策と考えている為、値上げは反対です。

ただし多くの市民に利用してもらいやすいような仕組みや広報活動が今後の課題だと考えます。

値上げよりも利用者を増やすことの方が重要です。

⑤利用者や地域住民への説明について

説明責任を果たさないのは、もちろん不適切であると考えます。

## 多摩市の社会教育施設に関するアンケート 回答

遠藤 めい子

## 1. 図書館削減計画について

- ・数年前に開館したばかりの図書館の廃止を含む今回の提案は、少々乱暴な提案だとの印象があります。また、中央図書館を建設する代わりに、地域図書館を廃止するというように捉えられかねない提案には違和感があります。一方、現在の本館図書館は暫定施設としての位置づけであり、収蔵数の限界が近づいていること、本の保管場所として必ずしもふさわしくないこと等、課題も認識しています。図書館については、地域館を廃止して3館に集約するか、すべてを今のまま残すかということだけではなく、図書館全体をどのように再構築していくのか、学校図書館との連携や今後地域館に期待される役割などもあわせて考える必要があります。

## 2. 関戸公民館の廃止計画について

- ・関戸公民館の存廃だけを議論するのではなく、多摩市の社会教育をどのように充実させるのかを考える必要があります。社会教育を担う人、事業、活動を展開する場所について、改めて議論する中から、公民館のあり方を見極めていくためにも、第三次生涯学習計画の改定作業に市民が積極的に関われる手法を提案したいと考えます。

## 3. 四つの児童館の廃止や移転案について

- ・多摩市では、現在の児童館は、子ども・子育て新制度における「地域子育て拠点施設」として衣替えし、財源等を確保していく考えです。今後新制度に基づき、児童館が担っている多くの事業や役割を整理し直し、ひとつひとつ事業の実施場所や担い手も含めて検討し直すことが不可欠です。その際、現在の直営方式だけでなく、他の活動主体との連携や協働も選択肢の一つとして検討していくべきです。基本的には就学前の子どもと保護者をフォローしていく場所、就学後の学齢期を経て、大人に成長していく過程を見守っていける拠点、居場所が求められていると考えます。

## 4. 社会教育施設使用料の値上げについて

- ・基本的には使用料を市民にご負担いただくことは避けられないと考えます。しかし、負担が増えることにより、活動が縮小してしまうことは残念なことです。今後、現実的には施設を快適にご利用いただくための維持管理経費等も嵩むことが予測されます。その中で、社会教育施設そのもののあり方も含め、使用料に関する議論を進めていかなければなりません。正確な情報提供を行い、市民と共に社会教育施設の使用料のあり方も検討していきたいと考えます。

## 5. 行動プログラム最終案策定方法について

- ・自治基本条例により、市長は計画策定段階において市民の参画する機会の保障に努めるものとされており、今回のプログラムの策定にあたっては市民説明会やパブリックコメントなどが実施されました。残念ながら市民参画の機会が十分に活用されていない現状もありますので、より丁寧に情報発信に努め、市民と一緒に課題を共有することは大切と考えます。

11  
多摩市  
立候補  
予定者

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定者氏名

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。	②削減に反対である。	③何ともいえない。
理由 ① 市民にとって何か必要であるかは、市民が決めるべき。 ② 多摩市の現在と未来を考えた場合、そういう施設はむしろますます活性化すべきではないか？		

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。	②廃止に反対である。	③何ともいえない。
理由 上記①～②と基本的に同じ。 ただ、関戸公民館の場合サイズが大きく、財政的な圧迫も大きいのかも知れない。ハコモノ行政のツケは、解消のためにかなりの工夫が必要？		

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。	②廃止に反対である。	③何ともいえない。
理由 利用状況を精査してよく考えなければならぬが、今の世の中にこうした施設 の存在は非常に重要だと思う。むしろ、今より幅広い機能を果たせ、子供に も親にも地域全体にも有意義な運営を考える段階では？		

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。	②値上げに反対である。	③何ともいえない。
理由 私自身が不勉強で、経済的なニーズに対しては軽々に断じがたい。 しかしこれも、安値不値上げの前に利用者側とよく話し合うべきだと思う。		

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。	②不適切である。	③何ともいえない。
理由 市民自治の精神に根本から反している。 計画の最初の段階から市民参加を促すべき。		



多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定者氏名 青木 勝彦

よろしく  
お願い  
致します。

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。(4/1)

①削減に賛成である。      ②削減に反対である。      ③何ともいえない。

理由 多摩市の地域図書館は地域に根付いた「多摩市の財産」です。「行動プログラム」ではまず「図書館の再編ありき」からの議論で「図書館に対する市民の視点」が全く考慮されていない。「図書館の本を貸し出すだけの機能を残せば良い」という発想は理解できない。運営面からしても唯一民間委託のモデルであるはずの唐木田図書館を閉鎖することの理由が理解できない。ただし、職員数の見直し等の「コスト削減」の努力はするべきと考える。

15:15  
(Handwritten signature)

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。      ②廃止に反対である。      ③何ともいえない。

理由 関戸公民館が閉鎖で永山公民館が存続という理由が不明確。どちらにしても「各施設の稼働率を上げる」という運営努力を前提に公民館はできる限り継続させるべきと考える。

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。      ②廃止に反対である。      ③何ともいえない。

理由 「児童館」と「放課後児童クラブ」の機能分担をはっきりさせてさらに継続議論することが大切と考える。

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。      ②値上げに反対である。      ③何ともいえない。

理由 消費税の時の議論と共通する部分があるが、利用者への負担の増加をお願いする時の前提は  
①徹底したコスト削減努力      ②稼働率の向上の努力という内部努力を尽くした後、それでも補いきれない部分について利用者に負担をお願いすべきものであり、その努力なくしての利用者への負担増についてはすべきではないと考える。

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。      ②不適切である。      ③何ともいえない。

理由 「(仮称)公共施設の適正配置に関する行動計画」についての多摩市主催の説明会が平成24年8月27日、9月2日、9月8日と三回実施されたようである。その出席人数は85人、150人、124人の合計359人とある。もしこれが住民への説明会のすべてであるとすると「少ない」と言わざるを得ない。

## 多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

大くま真一

### 1. ②削減に反対である。

多くの方に利用されている、地域に根差した図書館を廃止することに反対です。図書館は単に本を借りる場所ではなく、本を通じて様々なことを学び・経験する場です。身近な所から図書館をなくしてしまうことは、その機会を奪うことになります。

書店の営業として働いていた時には、図書館への雑誌や書籍の納入も担当していました。多くの司書さんが、「どうすれば利用者さんに喜んでもらえるか?」と大変な努力をされているのを目にしてきました。貸出コーナーや図書(書籍)さえあればいいということ言う方もいますが、図書館を「本置き場」位に考えているとしか思えません。

### 2. ②廃止に反対である。

地域のコミュニティの中心となる公民館を廃止することに反対です。公共施設として残したとしても、公民館でなくなれば使用料の値上げなどが懸念されます。そうなれば地域のコミュニティの活動の拠点として機能しなくなってしまうと思います。

### 3. ②廃止に反対である。

児童館は地域の子どもの成長を支援し、子どもたちのコミュニティの拠点となる施設です。現在でも児童館がない地域があることも問題です。少なくとも現在ある児童館は維持したうえで、認可保育園の機能を拡充し、「子ども子育て新制度」のもとでの「地域子育て支援拠点施設」の充実を図ることが必要です。

### 4. ②値上げに反対である。

使用料が値上げされれば、施設を利用することが難しくなります。3年前の値上げでも、サークル活動の頻度を減らさざるを得なくなったというような声が出ています。学校のグラウンドや体育館、プールの使用料の徴収では、「子ども野球チームの会費を使用料に充てざるを得なくなり、子どもたちの為に使っていた予算がなくなってしまった」などの声も出ています。「受益者負担」は公共施設の利用に関してはなじまない物です。地域の活動を保障するためには、なるべく低廉にし、気軽に使用できる環境を確保することが必要です。

### 5. ②不適切である。

学校、図書館、公民館、コミュニティセンター、公園などの公共施設は、単に趣味や娯楽を享受する機能だけではなく、誰もが利用できる施設であることによって、住民が権利の主体者として地域コミュニティづくり、まちづくりに参加し、主権者としてみずから育つことを促進する機能を持っています。これらのことをふまえれば、公共施設の今後については、徹底した情報公開と住民参加が必要です。市民不在で作られた「公共施設の見直し方針と行動プログラム」は抜本的に見直されるべきです。

## 多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定者氏名 岩永 ひさか

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。                      ②削減に反対である。                      ③何ともいえない。

理由 数年前に開館したばかりの図書館の廃止を含む今回の提案は、少々乱暴な提案だとの印象があります。また、中央図書館を建設する代わりに、地域図書館を廃止するというように捉えられかねない提案には違和感があります。一方、現在の本館図書館は暫定施設としての位置づけであり、収蔵数の限界が近づいていること、本の保管場所として必ずしもふさわしくないこと等、課題も認識しています。図書館については、地域館を廃止して3館に集約するか、すべてを今のまま残すかということだけではなく、図書館全体をどのように再構築していくのか、学校図書館との連携や今後地域館に期待される役割などもあわせて考える必要があります。

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。                      ②廃止に反対である。                      ③何ともいえない。

理由 関戸公民館の存廃だけを議論するのではなく、多摩市の社会教育をどのように充実させるのかを考える必要があります。社会教育を担う人、事業、活動を展開する場所について、改めて議論する中から、公民館のあり方を見極めていくためにも、第三次生涯学習計画の改定作業に市民が積極的に関われる手法を提案したいと考えます。

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。                      ②廃止に反対である。                      ③何ともいえない。

理由 多摩市では、現在の児童館は、子ども・子育て新制度における「地域子育て拠点施設」として衣替えし、財源等を確保していく考えです。今後新制度に基づき、児童館が担っている多くの事業や役割を整理し直し、ひとつひとつ事業の実施場所や担い手も含めて検討し直すことが不可欠です。その際、現在の直営方式だけでなく、他の活動主体との連携や協働も選択肢の一つとして検討していくべきです。基本的には就学前の子どもと保護者をフォローしていく場所、就学後の学齢期を経て、大人に成長していく過程を見守っていきける拠点、居場所が求められていると考えます。

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。                      ②値上げに反対である。                      ③何ともいえない。

理由 基本的には使用料を市民にご負担いただくことは避けられないと考えます。しかし、負担が増えることにより、活動が縮小してしまうことは残念なことです。今後、現実的には施設を快適にご利用いただくための維持管理経費等も嵩むことが予測されます。その中で、社会教育施設そのもののあり方も含め、使用料に関する議論を進めていかなければなりません。正確な情報提供を行い、市民と共に社会教育施設の使用料のあり方も検討していきたいと考えます。

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのようにお考えですか。

①適切である。                              ②不適切である。                              ③何ともいえない。

理由 自治基本条例により、市長は計画策定段階において市民の参画する機会の保障に努めるものとされており、今回のプログラムの策定にあたって市民説明会やパブリックコメントなどが実施されました。残念ながら市民参画の機会が十分に活用されていない現状もありますので、より丁寧に情報発信に努め、市民と一緒に課題を共有することは大切と考えます。

今回の回答を作成するにあたって、民主党公認推薦の予定候補者で回答を協議しています。個々人の考えを表明すべきかどうか議論しましたが、選挙後の議会活動は集団（会派）をつくり市長や行政との関係性を築いていくことを前提にし、まずは、私たちの立ち位置と態度を表明することとなりました。統一見解として、回答を書かせていただきましたのでよろしくお願いたします（岩永ひさか）。

**多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書**

立候補予定者氏名 増田匠

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。	②削減に反対である。	③何ともいえない。
理由		

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。	②廃止に反対である。	③何ともいえない。
理由		

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。	②廃止に反対である。	③何ともいえない。
理由		

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。	②値上げに反対である。	③何ともいえない。
理由		

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。	②不適切である。	③何ともいえない。
理由		

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定者氏名 しらた 三衛

※各質問事項の①～④であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち墨ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

<input type="radio"/> ①削減に賛成である。	<input checked="" type="radio"/> ②削減に反対である。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由 4館を廃止して中央図書館などを建設することはおかし な見直しだ。基本方針の(1)で「...を...」とあるが、 そのほかにも「...」とある。市民に何を求めているのか と疑問だ。		

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

<input type="radio"/> ①廃止に賛成である。	<input checked="" type="radio"/> ②廃止に反対である。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由 今は、廃止計画は見直すべきだと思います。 この先は、この場所の約34億をどのように返す(7億のか、 戻りの中7億の1億7千万)。社会教育の要を市民に求め、施設のあり方を 検討してほしいと思います。		

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

<input type="radio"/> ①廃止に賛成である。	<input checked="" type="radio"/> ②廃止に反対である。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由 児童館は、全て地域子育て支援拠点にして 左右をたたくと思います。		

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

<input type="radio"/> ①値上げに賛成である。	<input checked="" type="radio"/> ②値上げに反対である。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由 検討事項だと思います。 60円はない、なぜ値上げ(7億)のか、疑問です。		

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

<input type="radio"/> ①適切である。	<input checked="" type="radio"/> ②不適切である。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由 市長は13か所、説明したか。当該施設などは12 不十分だ。形だけでは、市民にはご理解、理解してほしい です。		

ご協力ありがとうございました。fax : 1 41-221-1111 メール: yarad@hassai.ac.jp 郵送のいずれかの方法で4月1日必着でお願いします。  
4月5日は公務のため、大変厳しい状況ですが、よろしくお返事ください。